

苗齢1-1年生トドマツコンテナ苗の育生 大幅な育苗期間の短縮 (2年生苗)

北振種苗有限会社 代表取締役社長 尾田 美敬
紋別地区種苗協議会 参事 遠藤 貞

1年生幼苗を緩効性肥料で 育てるコンテナ苗の目的

- 育苗箱播種→除草省略
- 1年生幼苗移植(工程アップ)
- 活着率・得苗率の向上
- コンテナ苗の生産増
- 育苗期間の大幅な短縮
(育苗期間4年→3年→**2年**)
- コンテナ大苗生産可
(40~50cm)
- 植栽後の持続生長
- 下刈期間の短縮・省略
- 経費削減

1年生幼苗を如何に大きく育てるか

コンテナ苗の生長に合わせた緩効性肥料を
色々な溶出タイプを倍地に混ぜ育生します。
更に植栽後の持続生長をも考え、360日
タイプ・700日タイプを混ぜ合わせます。

緩効性肥料混合割合別生長



4月上旬移植9月中旬のコンテナ苗

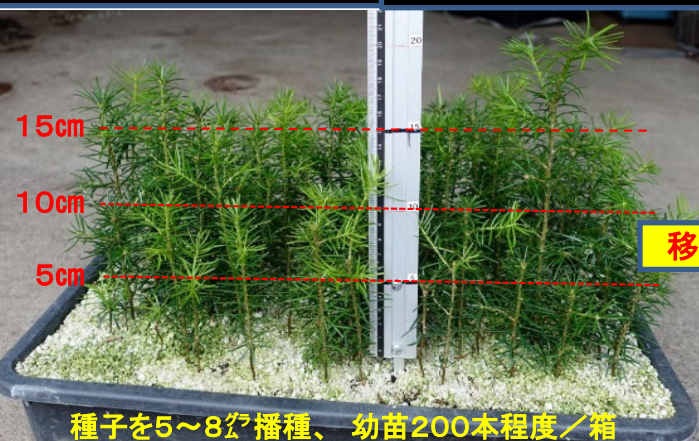
通常のトドマツ苗育苗期間
裸苗 苗齢2-3(5年生)

コンテナ苗 苗齢2-2(4年生)
1年生幼苗を移植したコンテナ苗
苗齢1-1(2年生)

商品名	成分(%)	溶出タイプ	施肥量
マイスターMX07 ハイコントロールータル391 ハイコントロール650	N20-P7-K11-Mg2 N13-P9-K11-2-0.1-0.006 N16-P5-k10	50日. 70日.140日.270日. 100日.180日.360日.700日	12g/培地1kg 当たり混合

苗齢1-1コンテナ苗 を作る3つのポイント

- ①大きな幼苗を作る ②生長に合わせた緩効肥料の組み合わせ
配合 ③育苗管理(ハウス内の温度・湿度・苗の生長・馴化)



種子を5~8g播種、幼苗200本程度/箱



生分解性コンテナに移植(生長に合わせ移動可)